

# 室内熱中症 こぞ気をつけて!

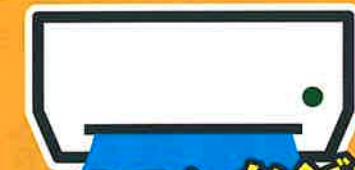
ポイント1



室温・湿度を  
こまめにチェック!

部屋によって室温や湿度は異なります。  
温度計や湿度計を使用して、  
今いるお部屋の状況を確認する  
くせをつけよう!

ポイント2



エアコンなどで  
温度を調節

室温や湿度が高い時には、  
エアコンや扇風機などを使用して  
室内を快適に。  
すだれや遮光カーテンなども  
活用しよう!

ポイント3



室内でも  
水分補給を!

屋外に比べて、室内ではのどの  
渴きを感じにくいうことがあります。  
のどが渴いていなくても、  
こまめな水分補給を  
心がけよう!

熱中症警戒アラートが  
発表されたら…

- 外出は控え、暑さをさけよう!
- 暑さ指数(WBGT)に応じて  
屋外や空調のない屋内での運動は、  
原則、中止や延期を!



高齢者の方は  
とくにご用心!

## 熱中症予防の基本! こえかけ も忘れずに!



こまめな  
水分補給

屋外労働や室内外など、  
たくさん汗をかく時は水分と  
塩分を補給しましょう。



おかしいな?  
と感したら…

熱中症の応急処置!



炎天下を  
避けよう

炎天下での長時間の作業、  
海水浴は避けましょう。日傘や  
帽子で日光を遮りましょう。

① 涼しい環境への避難

風通しの良い日陰やクーラーのある  
室内など、涼しい場所へ避難させる。



風通しを  
良く

室内でも油断は禁物!  
適度な風通しや冷房設備で  
熱を逃がす工夫をしましょう。



② 脱衣と冷却

衣服をゆるめるなどし、体からの熱の  
放散を助ける。氷や水で首や脇の下、  
足の付け根などを冷やす。

③ 水分や塩分の補給

冷たい水や、スポーツドリンクなどを  
与える。(ただし、意識がはっきりして  
いない場合、経口での摂取は厳禁)



健康  
管理!

睡眠・栄養はしっかりと!  
日頃から適度な運動で暑さに  
負けない体を作りましょう。

④ 医療機関へ運ぶ

意識がはっきりしないとき、自力で  
水分摂取ができないときは、すぐに  
医療機関へ搬送する。

この広告は、熱中症環境保健マニュアル [http://www.wbgt.env.go.jp/heatillness\\_manual.php](http://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_manual.php)を参考に作成しています。

沖縄県保健医療介護部 地域保健課 TEL 098(866)2215

<https://www.pref.okinawa.jp/iryokenko/kenko/1006282/1023461.html>

詳しい熱中症情報は  
こちらから→



沖縄県熱中症情報

沖縄県熱中症

検索

# 熱中症はこえかけで防げる。

## ✓ 热中症とは?

室温や気温が高い中での作業や運動により、体温の調節機能が働かなくなり、体内の水分や塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れ、発症する障害の総称です。

おかしいな?

## ・と感じたら…熱中症の応急処置!

### 熱中症重症度チェック!

#### 重症度 1



めまい、立ちくらみ、筋肉のこむらがえりなど

#### 重症度 2



頭痛に吐き気、倦怠感など

#### 重症度 3



意識がない、痙攣、呼びかけに対する返事がおかしい、まっすぐに歩けない、高い体温であるなど

熱中症は、  
家族で! 職場で! 地域で!  
防ごう!!

防ごう!!

?

熱中症を引き起こす条件って何?

- 【環境】気温が高い、湿度が高い、日差しが強い、風が弱い
- 【体】激しい労働や運動によって、体内に熱がたまる、暑い環境に体が対応できない時

おかしいな?

## ・と感じたら…熱中症の応急処置!

### ①涼しい環境への避難

風通しの良い日陰や  
クーラーのある室内など、涼しい場所へ避難させる。



### ②脱衣と冷却

衣服をゆるめるなどし、  
体からの熱の放散を助ける。  
氷や水で首や脇の下、足の付け根などを冷やす。



### ③水分や塩分の補給

冷たい水や、スポーツドリンクなどを与える。  
(ただし、意識がはっきりしていない場合、経口での摂取は厳禁)



### ④医療機関へ運ぶ

意識がはっきりしないとき、自力で水分摂取ができないときは、すぐに医療機関に搬送する。



?

どんな場所でなりやすいのか

高温、多湿、風が弱い、輻射源(熱を発生するもの)の環境下  
※工事現場、運動場、体育館、窓を閉めた車中は特に注意!  
室内でも熱中症は発生しています

?

どのような人がなりやすいのか

脱水症状のある人、(寝不足や欠食時、前の晩の飲酒など)、高齢者、幼児、肥満の人、過度の着衣、運動不足の人、暑さに慣れていない人、病気の人、体調の悪い人